

# 学力向上アクションプラン

重点取組分野		具体的取組
授業改善		①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。②本時のめあて確認と振り返りの時間を大切に、子どもが主体的に学習を進められるようにする。③重点研究テーマを「自ら学び ともに考え 行動する 台小の子の育成」とし、国語科を中心に、自分の思いを豊かに表現できる子を育てる。
担当	教育課程推進委員会	

### 学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる児童生徒の実態

○現時点では、国語科の学力層が市平均を上回っており、3年生から4年生にかけても学力層が高くなっている。  
 ○その他の学年の学力層は、経年で見ても市平均を下回っている。  
 ○国語科の学力層を見ると、全学年A層の割合が市平均を下回っており、現5年生を除き、すべての学年でD層の割合が市平均を上回っている。

(2) これまでの学校の取組状況

○目指す子どもの姿について、年度始めと終わりに職員で共通認識をもつ時間を設定してきた。  
 ○朝学習や家庭学習の在り方(目的や意図)について共有し、その取組方法について検討している。  
 ○R5年度では、重点研究で国語科を取り上げ、願いを実現するために、課題解決に向かって話し合う子どもを育てるための手立てについて共通理解をしていった。今年度は「言葉による見方・考え方を働かせながら、自己の学びを調整する子どもの姿」を目指して、重点研究を行っていく。

### 今年度の目標

言葉による見方・考え方を働かせながら、自己の学びを調整する子どもの姿を目指して授業づくりを行うことを通して、学校教育目標の実現に近づけられるようにする。

### 目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標の実現に向けた取組内容を実現できるようにするために、職員組織の二委員会を「児童指導委員会」と「教育課程委員会」とする。さらに、「教務会」「メンター研」「業務改善委員会」を編成し、職員間の対話を生み出せるようにする。</li> <li>○職員で共通認識をした「目指す子どもの姿」について、都度、話題にあげ、加筆修正をしたり、職員間の認識をさらに深めたりする。</li> <li>○学校教育目標の実現に向けた取組内容になるように、朝学習や家庭学習の取組について職員で共通理解をしたり、検討したりする。</li> <li>○豊かな語彙力を習得することができるように、言葉による見方・考え方を働かせることができるような授業づくりについて、職員で検討していく。</li> <li>○自律した学習者を育成することができるように、自己の学びを調整することができるような授業づくりについて、職員で検討していく。</li> </ul>
下半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育目標の実現に向けた取組内容を実現できるようにするために、職員組織の二委員会を「児童指導委員会」と「教育課程委員会」とする。さらに、「教務会」「メンター研」「業務改善委員会」を編成し、職員間の対話を生み出せるようにする。</li> <li>○職員で共通認識をした「目指す子どもの姿」について、都度、話題にあげ、加筆修正をしたり、職員間の認識をさらに深めたりする。</li> <li>○学校教育目標の実現に向けた取組内容になるように、朝学習や家庭学習の取組について職員で共通理解をしたり、検討したりする。</li> <li>○豊かな語彙力を習得することができるように、言葉による見方・考え方を働かせることができるような授業づくりについて、職員で検討していく。</li> <li>○自律した学習者を育成することができるように、自己の学びを調整することができるような授業づくりについて、職員で検討していく。</li> <li>○目指す子どもの姿に近づいているのか、職員で共通認識を図る。</li> </ul>